

平成 30 年度 事務事業評価シート (評価対象 平成 29 年度実施事業)

事業名	常備消防事業			事務事業コード	6121-1
担当	総務 部	危機管理 課	消防団 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	消防法		
管理方法	簡易				
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	1.安心で安全なまちづくり
	施策	2.消防・救急
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 常備消防(管内の消防本部、佐久消防署等の運営に関する事業)により、市民の安心・安全が守られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・佐久市内を管轄している常備消防(消防本部、佐久、北部及び川西消防署)を広域で運営するための負担金の支払事務 ・広域連合は11市町村で構成されており、人口割、基準財政需要額割、消防署職員割、消防署車両割の比率により負担金が算出される。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
コスト	事業費	626,616		686,971		734,551	
	人件費	0.10 人	657	0.10 人	670	0.10 人	670
	非常勤職員等	時間		時間		0 時間	0
	人件費合計	657		670		670	
	総事業費	627,273		687,641		735,221	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	5,710		4,709		4,708	
	一般財源	621,563		682,932		730,513	
	財源合計	627,273		687,641		735,221	

平成 30 年度 事務事業評価シート (評価対象 平成 29 年度実施事業)

事業名	非常備消防事業			事務事業コード	6122-1
担当	総務部	危機管理課	消防団係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	消防団組織法		
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	1.安心で安全なまちづくり
	施策	2.消防・救急
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 非常備消防である消防団について、構成される団員の約8割がサラリーマンであることを考慮し、地域等における消防団活動の理解や団員が活動しやすい環境づくりを進めることにより、地域の防災が維持されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・団長の招集により出勤し、火災、水害、捜索等に従事する消防団員の報酬及び費用弁償、公務災害補償、退職報償金等に係る事務事業を行う。 ・非常備消防(消防団)の活動に連絡調整を行い、これに伴う経費を予算化し、支払事務を行う。 ・事業所からの申請により、消防団協力事業所認定証を交付する事務を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
コスト	事業費	176,630		187,260		177,363	
	人件費	0.95 人	6,242	0.95 人	6,365	0.95 人	6,365
	非常勤職員等	時間		時間		0 時間	0
	人件費合計	6,242		6,365		6,365	
	総事業費	182,872		193,625		183,728	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	45,591		33,525		53,160	
	一般財源	137,281		160,100		130,568	
	財源合計	182,872		193,625		183,728	

平成 30 年度 事務事業評価シート (評価対象 平成 29 年度実施事業)

事業名	消防施設整備事業			事務事業コード	6122-2
担当	総務部	危機管理課	消防団係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	消防法		
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	1.安心で安全なまちづくり
	施策	2.消防・救急
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 消防団車両・施設等の維持管理を行い、災害活動・予防活動等の出動時に支障がない。小型動力ポンプ及び同ポンプ付積載車が配備計画に基づき各分団に対し適正に配置されている。 市民の安心、安全な生活の確保に資する管内の消防施設等が充実している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること <ul style="list-style-type: none"> 消防団の機械器具（ポンプ車、積載車、小型動力ポンプ等）を維持管理する。 消防詰所、器具置場等の維持管理する。 消防活動に支障がないよう、管内の建築物の状況に合わせ消火栓等を設置するとともに、既存の消火栓等の維持管理を行う。 地元区で購入する消防用資機材（消火栓用ホース、ホース格納箱等）に対して購入費の7割を補助する。 消防団が使用している小型ポンプ、小型ポンプ付積載車について、古くなったものから定期的に更新（消防団係にて購入し、配備）する。 消防詰所、器具置場等庫、ポンプ、消防用車両等について、消防団等からの要請により修繕、整備、更新（消防団係にて）を図る。 消防本部指令センターの統合により、佐久広域連合本部と連携し、消防、救急体制の充実を図る。 	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		
コスト	事業費	80,203		78,102		75,887		
	人件費	常勤職員	1.95 人	12,812	1.95 人	13,065	1.95 人	13,065
		非常勤職員等	時間		時間		0 時間	0
	人件費合計		12,812		13,065		13,065	
総事業費		93,015		91,167		88,952		
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	22,300		17,400		19,100		
	一般財源	70,715		73,767		69,852		
	財源合計	93,015		91,167		88,952		